

## 黒木勝紀

知って納得! 目からウロコの実践講座  
~優しくいつくしみ包み込む介護技術を学ぼう~

### 体験型

トランスファーを中心とした介護技術を実技を通して学べる講座です。実習室で行います。

## 後藤晴紀

一人のご利用者が10の幸せを教えてください!  
地域を巻き込み、モチベーションアップ

### 講義型

実際の事例に触れて刺激を受けながら、次のステップへとやる気をかき立てる講座です。

## 中浜崇之

5年後からの  
介護のシゴトを創造する

### 対話型

講師からの問いかけに答える形で受講者も参加するワークショップ形式の講座です。

## Timetable

Round 1  
14:20-15:10



Interval 15:10-15:20 ▶ output

Round 2  
15:20-16:10



Interval 16:10-16:20 ▶ output

Round 3  
16:20-17:10



Interval 17:10-17:20 ▶ output

Break time  
17:20-18:00

トークセッション ▶ sharing



### ルール説明

ABCの3グループに分かれて1コマ50分の講義を3コマ受講。  
その後、受講者は各教室のボードにあるテーマに沿って自分の意見を記入。  
そのボードはトークセッション時に使用する。

お申込み方法

## 電話・FAXにて受付

いばふく事務局 [いばらき中央福祉専門学校 内]

TEL.029-259-9292 / FAX.029-259-9293

FAXでお申込みの方は、「件名: トップランナー研修参加申し込み」「お名前」「連絡先」をご記入の上お送りください。



厚生労働大臣指定・介護福祉士養成学校  
いばらき中央福祉専門学校

〒319-0323 水戸市鯉淵町2222-2  
TEL.029-259-9292 / http://www.ibachu.ac.jp



詳しくはこちら



# 黒木勝紀

Kuroki Masaki

知って納得!  
目からウロコの実践講座  
~優しくいつくしみ包み込む介護技術を学ぼう~

## 道をひらく Triple Impact

トップランナー研修

2017 10.19.thu 14:00-18:00  
会場 いばらき中央福祉専門学校  
主催: いばらき中央福祉専門学校/北水会グループ研修システムstep



IBAFUKU  
茨城の福祉を  
元気にするプロジェクト

## Goto Haruki

一人のご利用者が10の幸せを教えてください!  
地域を巻き込み、モチベーションアップ

# 後藤晴紀

# 中浜崇之

Nakahama Takayuki

5年後からの介護のシゴトを創造する



Special Interview

# 道をひらく。

福祉業界の様々な課題・閉塞感を打破し、変えていこうと団体を立ち上げて力強く行動されている三人にお話を伺います。これまでの経緯や今考えていること、そして、最終的な「夢」まで、三者三様の熱い思いを語っていただきます。  
インタビューききて：小林信彦・益子龍一 (step)

## 『けあぶろかれっじ』はどのような思いで設立したのですか？

『介護福祉は究極のサービス業』『介護現場で真に活躍できる人材を育成する』真に活躍できる人材とは、「利用者」「家族」「職員・仲間」「事業所(経営者)」この4者にとってのhappyを考えることができ、実践を通じて形にできる人材だと考えています。障がいや疾患を持ちながらも、その身を委ねてくださっているご利用者やご家族の想いに対し、介護職は他者の人生に介入するという責任と覚悟をもって向き合い、当たり前の生活を守り『生ききる』為の支援の実践者を養成するため『けあぶろかれっじ』を設立しました。

## どのような活動をされていますか？

【Pro養成介護塾】介護のプロフェッショナルを育成する為のセミナープログラム。介護実践、経営、倫理、ソーシャルワーク等、今後の介護職に求められる能力を養っています。  
【トークイベント】介護職の視野を広げることを目的に、介護業界に限らず、あらゆるジャンルで活躍する著名人をお呼びしてトークイベントを企画しています。

## 介護職に今、求められていることは？

ご利用者の『生きる』想いに対して全身全霊で向き合い、『生ききる』ことを支援できる介護職となることです。その専門職の姿こそが究極のサービス業と自負している介護福祉士なのです。また、その方に合わせた人生を生き切って頂くためには、様々な学びを通じて、介護技術や知識はもとより、高い倫理観と、社会性、教養、感性、ホスピタリティの精神を高める必要があります。

## 夢について教えてください。

介護福祉士はその価値を発信し、地位を高め、日本の未来を担っていくプロフェッショナルとして、経営課題解決や人材採用、マーケティングやソーシャルワークなどのマルチタスクをこなせる人材となります。そんな価値ある介護のプロがそれぞれの地域で活躍し発信する事で、人材が育ち事業所が変わり、地域が変わり、日本の社会を変えていきます。老いを楽しみ認知症を恐れない社会を創造していく日本が世界に誇れる介護福祉士となるのです。

# 後藤晴紀



『ケアプロカレッジ』主宰

Goto Haruki



# 可能性の追求・先義後利

社会福祉法人 希桜会 副本部長、地域密着型特別養護老人ホームきさらぎ荘施設長。当たり前の生活を守り生ききる支援の実践者を養成する為、2017年1月20日『けあぶろかれっじ』設立。

# 1人の100歩より、100人の一歩

宮崎県出身、筑波大学大学院卒業。30歳から福祉の道に飛び込む。2008年7月、かいごの学び舎『鼓動』を石岡市地域包括支援センター、社会福祉協議会の協力のもと有志とともに設立。



# 黒木勝紀

かいごの学び舎『鼓動』代表

Kuroki Masaki



# 中浜崇之



『介護ラボしゅう』主宰

Nakahama Takayuki

楽しむ。



介護福祉士として社会福祉法人希桜会の理事兼施設長。NPO法人Ubdobeの理事として福祉のポジティブな視点での発信と福祉の担い手の増加に向けて活動を行う。介護職に就いて5年目の2010年5月に『介護ラボしゅう』設立。

## 『鼓動』はどのような思いで設立したのですか？

当時行きたいと思う研修は都内がほとんどで、交通費などかけるとそれなりの金額がかかりました。リハビリ職は組織や事業所を超えた活動をしているが、介護ではない。もっと近場で有意義な研修ができないかと近隣の様々な専門職の方と話し合いを重ねました。地域の高齢者や障がいの皆様が安心して生活していくためには、介護職をはじめ、福祉に関わる全ての方が自信と意欲と希望をもって仕事をすることが大事で、「井の中の蛙」にならないように所属施設を超えたスタッフの交流も必要と考え設立しました。

## どのような活動をされていますか？

年6回、奇数月に開催。10月の研修で66回を数えます。優しくつつしみ込み込む介護技術、介護の現場に笑顔が溢れるコミュニケーション講座、脳活性化プログラム「シナプソロジー」、認知症のことを紙芝居でわかりやすく伝えることができる「きらめき認知症シスター養成講座」などを開催。そしてその時、その年に「この人だ!」と思った方にアポをとり、研修を依頼し活動を続けています。

## 介護職に今、求められていることは？

日々変化する介護の現場に柔軟に対応するためには「考える力」を養うこと。そのために大事なキーワードは熱意・根拠・謙虚・学び・感謝です。そして現場で実践した介護の魅力を発信していくこと。メディアで発信されていることと同じことを職場や様々な場所で発信しては誰も魅力的だとは思わないでしょ。まずは身近な家族から介護の楽しさ、面白さ、やりがいを伝えて欲しいと思っています。

## 夢について教えてください。

介護の仕事に就いた方は、「おじいちゃんおばあちゃんが大好きで、そして誰かのために何かをしたい!」と思ってがんばっている方が多いと信じています。だからこそ、私の活動を通して介護の仕事に自信と意欲と希望をもつことができ、その想い「鼓動」を絶やすことなく現場でイキイキと活躍している仲間を県内、そして全国に広げていき、新しい一歩を踏み出す勇気をもてる人材を育成していくことです。

## 『介護ラボしゅう』はどのような思いで設立したのですか？

世間では離職率が高いなどの声も聞き、離職した人が自分の周りにもいました。なぜ私が離職せず継続できたのかを改めて考えた際に1つのことに気がつきました。話を聞いてくれる先輩が近くにいたこと。このことが大きな理由ではないか。提案や感じたことを話せる相手がいる事。提案事項が実施できなくても理解してくれる方が近くにいたことがとても大きかったのではないかと思います。次は自分がそういった立場で後輩をサポートしていくことが大事だと思い、施設で勤務している私は施設の中だけでやるのではなく、施設の外に出て行き様々な方が出入りできる場でお互いの意見を言い合える場所が作りたかったのが発端です。

## どのような活動をされていますか？

毎月1回の定例会を中心にして活動しています。定例会はKJ法のエッセンスやワールド・カフェのエッセンスなどの対話の手法を利用して対話の場を開催しています。その他にスマイルサミットという学びと横のつながりをつくる1日のイベントとちえの輪しゅうと言って介護現場の知恵や技術を他業種のもの作りの方々にも共有する機会をつくっています。

## 介護職に今、求められていることは？

介護の仕事の見直し。未来を見据えた上で人だからこそできる事。人じゃないとできないことは何かを見据えた上で介護職としての専門力を向上させること。また、他業界のアイデアや知識経験を介護福祉の世界に取り入れること。介護のシゴトが特別なものではなく一般化して行くためにも、仕事の細分化するためにも福祉業界にないアイデアを柔軟に取り入れていくことが求められると思います。

## 夢について教えてください。

介護福祉のシゴトの魅力をポジティブに伝えていき、興味関心を持っていただきたい。また介護福祉のシゴトに就いた方が一定期間は定着できる環境づくり。さらに介護福祉経験者がその有する能力を持って社会に出ていく出口をつくること。介護福祉を経験した人が社会に増えることにより誰もが住みやすい社会を創ることにつながると思っています。